

平成31年第1回大河原町総合教育会議議事録

日 時：平成31年3月26日（火）午前10時30分～正午

場 所：大河原町役場 2階 第1会議室

出席者：大河原町長 齋 清志

大河原町教育委員会

教 育 長 齋 一志

委 員 舟山幸枝 丹羽宜博 古山陽子

教育総務課 課長 尾形 彰 学校教育専門監 池田尚人

課長補佐 佐藤勝弘 学校教育係長 菅野敦子

生涯学習課 課長 八島良隆

事 務 局

総 務 課 課長 佐藤 公 課長補佐 佐藤圭一 庶務人事係長 佐藤芳信

（事務局）

それでは、平成31年第1回総合教育会議を開催したいと思います。はじめに大河原町長齋清志よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いします。

（齋町長）

みなさんこんにちは、年度末のそれぞれお忙しい中だったとは思いますが、ぎりぎりになって総合教育会議を開催することになりました。ご出席を賜り御礼を申し上げる次第です。また日頃本町の教育全般に渡りまして大変なお力添えをいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。本来先に申し上げるべきでしたが、齋教育長が3月末をもって退任になられますが、わが町の教育の発展の歴史に大変大きなものを残してくださったというふに心から感謝を申し上げるところであります。今後ともご指導を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、本年度の大河原町総合教育会議でございますけれども、本来ですと予算の話ですとか今後の取組みなど、いろいろ話があるのですが課題になることを取り上げてみたい話なので、ちょっと見てみたのですがいじめ問題が取り上げられていたり不登校問題が取り上げられているケースが結構あったんですけど、うちの町は、その方面の人達は学力向上という大変すばらしい中身そしてまた教育のブランド化に向けて更なる高みを目指してまいりたいというふうに考えているところでございまして、これを協議の中に取り上げさせていただきました。本当に有難いことだと受け止めているところであります。勿論いじめがあったり、不登校があったりする現実はあるかとは思いますが、しかし好いものをどんどん伸ばしていくその中で、この会議を持たせていただくことは何より嬉しいことだと思います。どうぞよろしくお願いいたします。また文化の薫る町にふさわしい繁昌院さんの春風コンサートのご案内を頂きまして本来生涯学習も

含めてですね、わが町の文化の高揚、こういった事もお話合いのテーマにしていければ本当に良いことなのかなと感じたところでございました。和やかなうちにこの総合教育会議を進めてまいりたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして大河原町教育委員会齋一志教育長より、ごあいさつを頂きたいと思います。よろしくお願いします。

(齋教育長)

みなさまこんにちは、今年度の総合教育会議が今の時期になりましたこと、町長も申し上げましたが大変申し訳なくお詫び申し上げます。また町長はじめ町当局のみなさま、教育委員のみなさまにおかれましては、この1年大河原町の教育に携わっていただき誠にありがとうございました。特に大河原町の教育について学力が高いと言われている背景には、昨年もそうでしたが、この総合教育会議等におきまして大河原町の教育に対しまして財政的な支援、精神的な支援を頂いております。そういったことから他の町から大河原町は、何で良いんだろう。そういう風に言われますが、そのお蔭をもちまして大河原町の学力は結果として上がってきたという風に理解しているところであります。先程いじめ、不登校について町長からお話ございました。いじめ、不登校につきましては、どの学校にも存在いたします。しかし、そのいじめを重大な事案にしないために一丸となって町職員共々取り組んでいるところであります。お蔭様で一触即発の危ない事案も抱えてはおるんですが、それが大きくならないように子ども家庭課をはじめ町全体で、そういった物を支えて今日まで大きくならないで済んできているということでございます。そういった意味で教育は一人や二人では出来るものではなく総合力だなと思うところであります。私も3月31日をもって退任させていただきますが、どうか今後とも新鈴木洋教育長を支えていただきまして、益々発展する大河原町という事でご支援を賜りますことをお願い申し上げましてご挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。大変お世話になりました有難うございました。

(事務局)

齋教育長ありがとうございました。続きまして3番の議事に入ります前に会議の議長について決めさせていただきたいと思います。この会議の進行、議長につきましては、大河原町総合教育会議の設置等に関する要綱第4条第1項で町長がなるということになっておりますので、議事の進行を町長にお願いしたいと思います。

(齋町長)

それでは、総合教育会議の設置等に関する要綱によりまして、会議を進めさせていただきます。何卒よろしく申し上げます。限られた時間ですので早速議事に入らせていただき

ます。なお、説明時間が長くなるような状況にならないように説明のみなさんよろしく協力をお願いします。それでは出鼻を挫いてしまいましたが詳細説明をお願いします。「教育に関する重点施策について」よろしくお願いします。

(尾形教育総務課長)

それでは、私の方から資料1でご説明させていただきます。これは平成31年度に大河原町が取組む事業を纏めた内容になっております。特に100万円以上の増額、新規ということで取組む事業となっております。1ページ目は学校教育、教育に関する基本計画、「笑顔」「元気」「学び」を育む教育環境をつくるまちということで、総合計画の中で事業を纏めたものです。平成31年度②の教育環境向上の推進の中に新規として教育施設管理費というものを設けました。各学校で修繕が発生しますが、30万円未満は各学校で、それ以上の金額につきましては教育総務課の方で施設管理係が主導的に処理が行えるような予算の配置を行ったものであります。

第2項の方は、小学校、中学校の関係ということになります。こちら大河原小学校の①の下の方に給食配膳業務委託事業がございますが、今年8月下旬2学期から給食センターの稼働に伴い給食を受ける学校の方での体制を整えるためにシルバー人材センターからの派遣を1名増やしたことによる増となっております。次の2ページにつきましては大河原南小学校になります。②の3つ目グラウンド改修事業がありますが、70万円の予算で現在使われていない校庭の脇にあるトイレの解体工事を行う内容であります。平成30年度にブロック塀の倒壊による死亡事故を受けて見直しを行っている中で、直接は該当しませんが、今回解体を行うことにしたものであります。それから(3)の金ヶ瀬小学校については、ほぼ例年の内容での事業となります。(4)は大河原中学校ですが、②の2つ目に体育館改修事業に予算を380万付けています。これにつきましては新年度に耐力度調査というものを行いまして、そこから体育館の改修を進める基礎的な調査ということを予定しております。(5)は金ヶ瀬中学校こちらにつきましては、例年とほぼ同じ内容になります。

次の4ページですが新給食センターの関係です。平成31年度は1学期はこれまでの給食センターの調理を行っていただきながら並行して8月下旬からの2学期にメフォスという新しい業者への引き継ぎをする新しい給食センターで調理を行うための並行した予算の要求となっております。特に④の調理及び運搬業務の民間委託事業が拡充となっておりますが、まさにメフォスが行う事業の予算となっております。それから⑤の方は給食センターの整備事業として工事それから備品購入等の予算がこちらの方になってまいります。

それからページ戻っていただきまして③子ども達の健全育成の心のケアハウス事業は平成31年度で4年目に入ります。これは県の方針が、もう少し継続して行っていくことになっておりますので続いていくものです。その3つ上にあります「教育環境整備事業」の中に4月から契約を結びます、プログラミング教育の教材でありますペッパーの導入

を行ってまいります。

以上雑駁な説明でしたが、こういったところを教育総務課、学校関係の重点として取組んでいく内容であります。

(齋町長)

教育に関する重点施策、予算配分等について説明を頂きましたがご質問あるいはご意見ありましたら、率直なご意見をたくさん賜りたいと思いますので、ご発言よろしく願います。ございませんか。

(齋教育長)

無ければ、1ページの教育環境整備事業のペッパーについてでございますが、これは導入に際しましては町長、町当局のみなさまのご理解を頂きましてプログラミング教育を一步先行く、先取りして行くんだということで導入しました。3月に導入したのですけれども、非常に大きな効果があります。それにつきまして学校教育専門監から説明をお願いします。

(池田学校教育専門監)

実際は4月1日からの契約で次年度の導入になるのですが、3月1日に納入を頂いております。各学校で4月から使えるようにということで準備をしているところなのですが、ご覧いただいた方もあるかもしれませんが各学校の玄関で迎えていただいたり、いろいろな式典やあるいは交流があった時に会場案内などもできるところです。その中で特に効果があったなというところは、不登校あるいは特別支援に関わるお子さんになんですが、なかなかそういったお子さんは子供や人とのコミュニケーションが取り難いのですけれどもペーパーとは喋れるんですね。というのは先程教育委員会の中でもお話しをしたんですけれど、人はその子のことを深く知り過ぎているので、何かを喋ると何か言われるんじゃないかという恐怖感が子ども達の中にあるのですけれども、ペッパーは聞いたことにしか答えない。良いのか悪いのかは別として。ですから安心して、そういった子ども達が話せるんですね。そうしたことからペッパーに会いに来るために不登校であった子が学校に来るようになったり、ペッパーの傍にいて学習に取り組む子どもが増えていくというようなことを聞いています。今後子ども達がプログラミングしたものをペッパーに入れてですね、今考えているところは桜まつりで会場の案内とかそういった事もさせて行きたいと考えています。

(齋教育長)

南小の事例はどうですか。

(池田学校教育専門監)

南小につきましては、平間教諭が非常に得意でして小学校6年生、他の学年についても、それぞれの桜まつりの案内を子ども達が作りまして、それをペッパーに入れてあります。4月の6日、7日土曜、日曜なんですが物産コーナー中央公民館のですね、そこにペッパーを持って行きまして見に来ていただいた方に少し操作をしていただきまして紹介をしてもらおうという風に今考えているところです。

(齋町長)

ありがとうございます。プログラミング教育いづれの学校でも取組むことになるものを先取りして新年度からしっかり進めて行くことにしていただいた訳ですが、この予算原資につきましては大場先生から頂戴いたしました 3,000 万円のご寄附、教育振興基金、通称大場基金ですが、この中から出させていただくことにさせていただいたものでございます。

(丹羽委員)

あの池田先生にお聞きしたいのですが、具体的な例としてペッパー君が役に立ったよというような話で不登校の子との関係がありましたけれども、そういった子がどんなことをペッパー君とお話するのかという事は具体的にはわからないのですか。

(池田学校教育専門監)

そうですね、私もその現場には居合わせていないんですが、金ヶ瀬中学校で次年度から特別支援学級に入るお子さんがいるんですけれども、やはり学級の中では会話が続かなかったり、疎外感を感じていたんですけれども、ペッパーが来てからは学校に居ることで、その部屋にずっと置くことはできないんですけれど、ペッパーがいて、その隣に本人がいて学習もするんですが、その学習に少し飽きてきた時にペッパーを操作したりという事で、取組んでいるようです。具体的な会話内容は聞いておりません。

(齋教育長)

大河原小学校においても2名の不登校児童がペッパーが来て学校に来るようになったと報告があります。

(丹羽委員)

あのペッパー君は録音するとか、そういった映像が残るとかそういうことではないんですか。

(池田学校教育専門監)

録音はできないかと思います。

(丹羽委員)

ただどういう人がどういう情報をペッパー君から得ようとしたとか、会話したとか、そういうのは残らないんですか。

(池田学校教育専門監)

もしかするとログ、まあその記録として残っているのかもしれませんが、ちょっとその辺は検討していきたい。中にはいたずらをする人もいるかもしれませんから。

(丹羽委員)

そういう事があるとね、カメラでも置いてあれば別に良いんだけど、高価な物でしょうから。

(池田学校教育専門監)

ペッパー自身は人の顔を認識して、それに対して喋りかけてくる通常のプログラミングではなくて、通常置いている状態だとそういう風になります。企業さんに置いてるものと、学校用は実は違ってまして、企業用の物は余計な事を喋らないようにネットに繋がっていないんですが、学校のはインターネットに繋がっています。ですので時事的な今日のニュースなんかを聞いても答えてくれる。ですから子供が聞いた、人間が聞いたことに対して、少しタイムラグはありますが検索して喋るという所が企業さんに置いてあるものとは違うということになります。

(丹羽委員)

だとすると不登校の子が、当然思っている心の負担に思っていることを質問するとか、そういった事にもちゃんとペッパー君が答えてくれるよとか、いじめに遭ってる子、いじめをしている子に対してもこういうこと、プログラミングというのかな、そういう事が出来るんだったら最高ですよ。

(池田学校教育専門監)

プログラミングではなく、実は遠隔操作もできるという事で、ペッパーが喋るふりをして先生が喋ることも可能なんだそうです。例えば今丹羽さんの話をお伺いして例えばその子がカウンセリング的な事を聞いた時にペッパーが喋っている振りをして先生が語りかけるなんてことも可能と言えば可能です。

(齋町長)

子ども達もすぐそのレベルまで行っちゃいますよね。

(池田学校教育専門監)

子ども達はプログラミング、私たちはどうしてもプログラミングと言うと難しい言語を思い浮かべてしまうんですが、今はブロックを並べたりとか、数値を入れて行くことで組んで行くことができますので、低学年の児童から入って頂けます。そこからどんどん難しいものに発展していく、或いは実際やってみてダメだったら修正しようねってことでトライアンドエラーが可能になってます。

(齋教育長)

よろしいでしょうか。

(齋町長)

はい、どうぞ。

(齋教育長)

南小学校のホームページを見ていただきますと、ずっと入って行きますと、子ども達が作成したプログラミングが出ています。そこに行きますと、いろいろ喋ってくれます。クイズとかいろんなものを子ども達がプログラミングして展開しておりますので是非見ていただくとわかります。様々な使い方があります。あまり使い過ぎて南小学校の場合は、機械が機能しなくなるまで入れてしまって、今2台目です。

(池田学校教育専門監)

ダウンしてしまいまして、今2号機です。

(齋町長)

一盃森先生どうぞ。

(一盃森委員)

今の話で賃貸借料には、そのその修繕費、いい湯のペッパー君も入院したまま帰って来ないけれども、不特定でいっぱい要求すると反応できなくなってということもあるのかなと思うんだけど、そこいら辺は。

(池田学校教育専門監)

そうですね、故意に叩いて壊したとかでなければ、直ぐに替わりの物を納入して、修理すると時間が掛かりますので、直ぐに代替えの物を持って来るというかたちです。

(齋町長)

あの身振り手振りになるので触ってみたくくなりますよね。倒しちゃって壊しちゃった

りする可能性もありますけど。丹羽委員どうぞ。

(丹羽委員)

気を付けて触りたいと思います。私も卒業式の時に握手を求めましたから。

あの不登校の中で特に中学生が心配だと思うのですが、要するに彼らは内心俺どうなるんだべ、私これから高校行けるのかしら、或いは社会に適用できるのかしらとか、いろいろ心配している子がいるんだと思います。だからそういうのにもうまくペッパー君をうまく、我々の情報よりも、もっと詳しくあなたの場合こうだよ、こうした方が良いよとか、そういうのがあるとペッパー君と話したくなりますよね、中学生あたりは。授業中でもいいから学校へお出でペッパー君が、いろいろ君の疑問に心配ごとに答えてくれるよみたいなことがあればいいかもしれませんね。特に君の進路とか。だめですかね、もしそんな事ができるのあれば。

(齋町長)

どうぞ。

(一盃森委員)

あの関連で平間先生中心に、例えばその活用方法に関しての検討会と言うか、会議は継続的に持たれるような形で進んでいるのですか。

(池田学校教育専門監)

そうですね、今まで菅野の方で進めていましたが、そういった担当者会を開いて常時研修を深めて行きたいと考えています。次年度31年度については、町全体でプログラミング教育について学習しようという事で考えています。ですから夏休みに先生方が集まる際には、ソフトバンク或いは研修センターのプログラミング担当の先生に来ていただきながら進めて行きたいと思ってますし、各学校でのプログラミングの取組みを1冊に纏めて次年度に行きたいと考えています。

(一盃森委員)

あの基本的には、そのプログラミング学習に、ためにというか本来は、そこが主眼な訳だと思うので、汎用性が高い中で、その汎用性という、どこまで対象にして学校教育、学校現場の中でやっていこうとするのかということについてね。

(齋町長)

じゃあ、答えを教育長。

(齋教育長)

えっとですね、金小ショックという風に言っている事例がございます。毎年4月と12月に学力テストをしています。この間仙台放送で放送がございましたが、大河原小学校の公開研究会の時に金ヶ瀬小学校の研究主任が申しておりましたけれども、金ヶ瀬小学校はタブレットを入れることによって授業が活性化して、もう子ども達は楽しくて、なんて素晴らしいだろう、先生方もすごく喜んでおりました。学力は上がっているはずだと、ところが4月と比べると12月はガクッと全ての学年で落ちてしまった。未だかつて金ヶ瀬小学校は、そういう事がなかったんです。ずっと右肩上がり、ところがあまりにもタブレットに依存してしまって、解るだろうと思い込んだために学力が落ちた。本当に良い事例、素晴らしい事例だと思います。これなんだと、つまり学力向上は、そうじゃないんだ、確実に着実にチェックしながらしていかないと、あたかも解ったかのような錯覚に陥ってしまう。そうならないように、このペッパーをして行かなければならない。という事であまりにもそれだけに頼らないという風にしていきたいなと専門監と話をしているところです。

(丹羽委員)

それではなおのこと、情報、情報通信そういったことが必要な時を迎えるのでしょうか、菅野さんいなくなって大丈夫。心配なんです。

(齋町長)

他にございますでしょうか。よろしいですか。教育長の計らいでプログラミング教育、タブレット活用に触れていただきまして作戦成功だったなと盛り上がりましていただきまして感謝申し上げる次第であります。続きまして(2)に入らせていただきます。教育施設の維持管理と将来計画について、柔らかに肩肘張らないで。

(佐藤教育総務課課長補佐)

(2) 教育施設の維持管理と将来計画について、私のほうから説明させていただきます。

(齋町長)

どうぞ着座でいいです。

(佐藤教育総務課課長補佐)

1番のほうにつきましては、昨年度の夏では猛暑といくことで、全国的に猛暑が取り沙汰されて普通教室で勉強ができない状態ではないのかという事から、それを踏まえて国の施策により冷暖房対応臨時特例交付金事業ができました。他の自治体と同様に大河原町も普通教室に冷房を設置しようということになりまして、今の進捗状況について説明させていただきます。実施設計業務も進んでおりまして設計業務も今年度末までに完成

しまして来年度4月以降に工事の入札を行ないたいという状態です。後でスケジュールの方は詳しく説明させていただきますので簡単にだけ、今後の想定されるスケジュールということで工事の方は今年度の予算であります、来年度までの繰越事業といたしまして、これから施工に入るところで小中学校5校で完成するのが12月までということで目標とさせていただきます。ただし各学校の事業規模によって早く設置されるところがありますので、早く終わった所は順次対応をさせていただきます。

2) ということでこちらの国土強靱化関連事業ということで国の施策によりまして2019年、2020年の2年間に限りの事業で、耐震化、防災機能強化、トイレ改修事業について優先的に各自治体がエントリーしましたら優先的に採択いたします。

大河原町のほうでは2019年度各小中学校の5校のトイレ設備全てにおいて改修事業をしようということで、エントリーいたします。2020年度につきましては、皆さまご存じのとおり大河原中学校屋内運動場の改築事業をエントリーしたいということにしております。今後のスケジュールにつきましては、まず最初に言いました大河原町小中学校トイレ改修事業につきましては、補助事業になりまして来年度早々に大河原町として建築計画を県の方に提出いたしまして、その内容で問題なければ9月上旬位に交付決定を受けられる予定になっております。そして設計・施工ということで、こちらの方は予算につきましては、大河原町といたしましても事前協議を行っております、実施設計、工事費の予算につきましては12月補正、こちら2021年の3月までの完成ということで考えております。次ページに移っていただきまして、大河原中学校の屋内運動場改築事業、こちらにつきましては、建築が昭和39年度の体育館ということで、かなり老朽化しているということで、こちらは金ヶ瀬中学校と同じように、今は耐震で安全なんですけれども耐力度調査をして危険改築と想定されることで、これの調査を来年度4月早々行いまして、その耐力度調査で、ある基準点以下になりますと国の補助の対象となりまして実際は進んでいくということになります。こちらの方では町としては、最終的には2022年3月までの完成を目指すということでお話ししたいと思います。この事業につきましてカラーコピーの方で、実際細かく専門的な書いておりますので、先ほど申しましたとおり文科省の方で、ここはあと2019、2020年で防災減災対策に取り組むということで、その対象につきましてだけ優先的に事業補助することの内容になっております。カラーの4ページの方を開いていただきまして、国土強靱化事業と通常の学校施設環境改善交付金事業との比較ということで、なぜ今回有利になるかを比較させていただきます、上の方が国の施策で緊急対策のためにあげています事業ということです。国庫補助については3分の1でございますけれども、残りの全てが事業債ということで、借金ができるということで、その内の交付税措置率が50%ということになっております。通常の交付金事業につきましては、国庫補助につきましては3分の1でございますけれども、残りの75%しか起債としてこない、交付税措置率も30%、町の負担としても25%出さなくちゃいけないということで、今回有利であるということで、エントリーさせていただきたいと思います。ちなみに資料3、5ページなんですけれども、今行っております冷房設備についても、このようなことで

冷房設備の方は交付税措置率が 60%ということになっておりまして、同じような理由でエントリーして事業が進んでいるような状況です。あと 6 ページを開いていただきまして、先程申しました事業スケジュールの計画案ということで細かく書いておりますが、小中学校の空調設備事業につきましては、遅くとも来年度の 12 月までに全てを完了させることになっております。今年度の夏はどうにかして頑張りますが、宮城県内、全国が全てこのような事業になっておりまして、ちょっと見通しが立たないので 12 月までということで組まさせていただきます。

続きまして国土強靱化関連事業ということで、小中学校のトイレ改修事業につきましては、先程申しましたとおり来年度早々に各小中学校の大規模トイレの改修をして、今トイレ床を水洗いとかしてますけれど、床の方をフラットにして乾式トイレということで、全て和式から洋式に行います。こちらにつきましても今のところの計画としましては 2020 年、32 年度までに全て終わらせるよう考えております。大河原中学校の屋内運動場でございますけれども、こちらの方 2 カ年限りでございますので、5 月下旬先程言ったトイレの改修のエントリーの後すぐに 5 月下旬にまたエントリー、2020 年のエントリーという事で、こちらの方が大河原中学校の体育館の改築事業をエントリーさせていただきます。最終的には 2021 年中に完了するという事で、かなりタイトなスケジュールでございますが、交付金事業を使うということで、この様なスケジュールになっております。最終的に後ろの方の 7 ページに細かく書いておりますけれども、概算総事業費だけお話しさせていただきますと、小中学校空調設備事業ということで概算総事業費として、最終的に工事費が 3 億 2,950。設計業務の方はもう契約をしておりますして 1,670 万円くらいになっております。続きまして 2019 年度のトイレ改修事業につきましては、概算総事業費ということで、全ての小中学校のトイレということになります。ただし、大河原小学校につきましては平成 19、18 年で大規模改造を行っているということで、トイレの改修につきましては、和式になっている所を洋式化するという事で、若干金額が下がっております。最終的に総事業費につきましては 3 億 5,380 万ということになっております。また今後の維持管理上につきましては、小中学校の環境整備事業ということでありますけれども、長寿命化改良事業の各 5 校の老朽度等いろいろな調査を行うという事で 4 月早々に出すということで、今後 10 年間の計画を立てるということで出しております。最終的に大河原中学校の屋内運動場外改築事業ということで、来年度早々にお認めをいただきました、現在の中学校体育館の耐力度調査を行いまして、それに伴って将来計画の策定ということで 380 万円を付けております。その後耐力度調査の内容によりまして、事業が進んでいくという事になります。最終的には概算総額 7 億 1,880 万円ということで概算をさせていただきます。今のところこのような事業を計画しております。説明は以上になります。

(齋町長)

町としても、思いがけずということなんですけれども、猛暑でエアコンの設置、近隣自

治体も同様な内容で対応するような形で進められております。併せて防災減災、国土強靱化というところに国の予算が相当入り込んでいるいまして、これ建物だけじゃなくて、河川なんかにも相当大きな予算が付いているんですけれども、うちのその恩恵に授かろうと、いろいろやっているところですが、今の説明にありましたように早い時期にエントリーして交付決定をいただいて、何時いつまでに完了させる。トイレは21年3月まで、体育館は22年の3月までということで、大変厳しいタイトな状況にはなるわけですが、期限付きのこの国庫補助を活用しないで町単独で、補助はあるんですけれども進めて行くと、また更に負担が大きくなると、議会にもエアコンは2月の臨時議会で予算措置がなされております。トイレについては新年度早々、説明を終えて反対の意見もなかったので順調に進めることができていると思っております。併せて耐力度調査をやった後、たぶん金ヶ瀬中学校よりも先に出来た体育館でして大中体育館は、必ず引っかかる形にはなるんだと思います。そこで引っかかって、じゃ正式にエントリーしますよという事で議会に理解を求めて行くという段取りになっています。いずれやらなければならない子ども達の環境、教育環境に関わる、施設環境に関わる整備でございますので、ここでこのチャンスを逃す手はないだろうということで、教育長の後押しもいただきながら決定の方向に進みつつあるところでございます。何かご意見ございましたら、或いはご質問ございましたらお出しいただきたいと思います。

(齋教育長)

えーとトイレについて、本当にありがとうございます。いろいろなご配慮をいただきまして感謝しているところでございますが、是非町長にご理解いただきたいのはトイレ改修についてですね、この機会に是非洋式化ということでございますが、併せてですね避難所運営を担うということでございますので、一部シャワートイレを是非お願いしたい、そこまでは、多分予算は来ないんじゃないかと思うんですが、そこん所を工夫して、1つのフロアーに1カ所でもシャワートイレを付けていただきたい。つまり子どもの中でも痔になっている子どもも必ずいるんですね。そういう子どもはシャワートイレがあると助かるんですね。ですからほんのちよつとの違いといいますかシャワーにするためには、それなりの予算を使うんですが、そこまでちよつと工夫していただくと大変ありがたいなと思うんですけれども、ひとつよろしくお願いしたいんですが。

(齋町長)

まあウォシュレットの要求は当然出てくる。これから行政区の集会所や生活センターへの対応も当然求められてくる事になる、役場のトイレもどうなんだっていう話もあるぐらいでございまして、ウォシュレットと言うのは登録商標なのかな。シャワートイレと言った方がよいのか、その対応も併せて検討させていただきます。全てとはいかないかもしれない。後付けの対応も出来る状況で、それですと10万掛からないでできる状況でもありますので、その辺は十分配慮できるじゃないかと思えます。ご発言ありがとうございます。

ざいます。他にございますでしょうか。あの説明させていただくことについて、何か不安、或いは問題だと思うことについて、何かありますか。はいどうぞ舟山先生。

(舟山委員)

先程話の中で乾式といいましたか。今までだと水洗いでとか。

(佐藤教育総務課長補佐)

乾式、給食センターでもそうなんですけれども、今は水洗いはしないで、トイレもそういう事で。

(齋町長)

衛生上ですね。

(舟山委員)

なんかイメージが湧かなくて、これって。

(佐藤教育総務課長補佐)

通常オーガ、大河原小学校もそう、中央公民館も。

(齋教育長)

大河原小学校の新校舎も乾式なっています。

(舟山委員)

お掃除はどうしてるんですか。

(齋教育長)

ただ拭くだけです。昔水をばーと撒いてましたが、あれは今はないです。

(佐藤教育総務課長補佐)

給食センターもウェットから乾式に変わって、衛生上の問題ということが出てきてるんです。

(池田教育専門監)

ご自宅のトイレが広くなったというイメージでしょうか。

(舟山委員)

はい、わかりました。

(丹羽委員)

拭いた後流せるとかありますが、手でやるんですか、何か棒とか。

(池田教育専門監)

まあ雑巾とかでやるんだと思いますが、今まではデッキブラシとかで磨いたり洗剤まいたり。

(齋町長)

水でじゃぶじゃぶ洗っていたのが無くなったという事です。

(齋教育長)

今まで水道の水をばあっと撒いていたのが無くなるという事です。

(舟山委員)

要するに床も改修されるという事ですね。

(佐藤教育総務課長)

そういう事です。床も通常の塩ビシートと言うか、住宅にある、ものと違いますが耐久性のある、こちらの廊下などにあるようなシートです。

(舟山委員)

まだまだ先の事かもしれませんが、今ある性の不一致のある子がトイレに入り辛くて、学校で困ったっていう事を何かで読んだことがあって、この辺では問題にならないんだろうなと思いながらも将来的にはね、総合的な男女どちらも入って良いよっていうのも考えていかなければならないのかなと。

(佐藤教育総務課長補佐)

多目的トイレと言うのが誰でも使えるというトイレは設置すれば良いんですけども、金ヶ瀬小学校ですと、そいったお子様がいたので設置したんですけど、あと大河原小学校にも多目的トイレは有るんですけど、今回その多目的トイレを新たに設けるとなると、今後の課題なんですけれど、そこをちょっと考えなくちゃいけないと思います。限られたトイレの中で多目的トイレを付けることは難しいところなので、そこは検討の課題になると思います。

(齋教育長)

もう一ついいですか。

(齋町長)

どうぞ。

(齋教育長)

男子トイレの問題ですが、男子トイレの小便器を無くす動きがあります。つまり男子が大便所に入れない、男子トイレの小便所を全部取っ払って大便所だけにするという動きがあります。でないとトイレでウンチしてっぺと囃されて入れなくなる。これが男の子にとっては非常にプレッシャーになる。そういうのもありますので、頭に入れておいていただきたい、そこまでは予算付かないと思いますが。

(齋町長)

なかなかいろいろ有りますね。

(丹羽委員)

全部大使用だと難しいですかね。予算的には。

(齋教育長)

難しいと思います。

(齋町長)

エアコン設備は受電設備にお金が掛かる。トイレの改修は排水管など見えない部分に手を加えて行かなければならないので、何で3億5000万も掛かるんだって言う話はあるかもしれませんが、どうしても掛かってしまう。

(佐藤教育総務課長補佐)

既存の配管も交換しますので。

(齋町長)

家庭でも水回り交換するとお金掛かりますよね。ああいう状態になるんです。

(佐藤教育総務課長補佐)

見えない所なんですけれども、そこが錆びたり、漏水してるんです。

(齋町長)

それを一気にやってしまうという事で、他に弾力的に多目的トイレに使えるとか、そんな風にはなっていないよね。

(佐藤教育総務課長補佐)

あの基本的には、今のメンテナンス上の見えない配管が全てです。

(一盃森委員)

良かった苦労しましたよね。天井裏でぶっちゃけてたことがありました。

(佐藤教育総務課長補佐)

天井も全部壊さなければいけないです。

(丹羽委員)

それじゃ掛かりますね。

(一盃森委員)

良かったです。是非に。

(丹羽委員)

もう一つよろしいですか。

(齋町長)

はいどうぞ。

(丹羽委員)

大便のことで、お寺にもたくさんあるんですけども、男子用のおしっこの便器もあるし、それからシャワーのやつもあるんですが、個人的に使っているのは、いわゆる大使用のやつに用をたすわけですが、いつも私座ってやるんですが、立ってやると必ず散らばるんですね、男性の場合は。ですから家のトイレは臭くないんです、座ってやりますので、本当に齋先生が言われるように全部が大便所でやるんだったらば、ルールを決めないと男子のトイレ臭せいななんて話になりますよ。それ掃除するのは生徒なんですか。

(佐藤教育総務課長補佐)

基本的に中学校は生徒で、小学校については、シルバーの方に来ていただいて。

(齋教育長)

子ども達もしますが、更にシルバーの人に来ていただいている。

(丹羽委員)

とにかくきれいに使ってもらってことですよ。マナーを守るといえるか、それが大前

提でしょうね。汚したら必ず拭けよってことで。失礼いたしました。

(齋町長)

いえいえ。他に何かございますか。

(一盃森委員)

大中の体育館、屋内運動場の件でしたが、あの中創立 75 周年に向けて動いておるところでありますので、それとタイトな時間ですけれど。

(齋町長)

いつですか。

(一盃森委員)

今年が 71 年です。

(齋町長)

間に合いますね。

(一盃森委員)

という事なので、タイトな時間の中でご苦労かけますけど。何時やるかの問題もありますけど、75 年過ぎるの機会にっていうこともあるので。

(齋町長)

何か説明が足りない所があったらどうぞ。追加で喋っていいですよ。時計見ながらやっていますので。はいどうぞ。

(古山委員)

トイレで便座は高校とかに行くと洋式のトイレがあっても便座は冷たいのですが、冷たいんですか。

(佐藤教育総務課長)

今まで付けているやつは、暖房便座にしています。ので、ウォシュレット、シャワートイレについては部分的に付けるとしても暖房便座としては必要だと思います。なぜ必要かと言うと、トイレの冬場にヒーターが無い状態もあるので、冬場の凍結防止にもなるということもあるので。

(古山委員)

温かい、みんな温かいんですね。

(齋教育長)

したがって最低限暖房便座にするという事です。

(佐藤教育総務課長)

暖房便座を基本にしています。

(齋町長)

そうだね。わかりました。他にございますか。追加説明もいいですか。

(丹羽委員)

大中の体育館はこんな感じということではないんですね。

(佐藤教育総務課長補佐)

こちらのカラーの方で申しますと、今回は耐震化か防災機能で、要するに構造上重要な構造物以外の外壁ですとか窓とか照明器具とかということで、前に大河原小学校体育館は外壁と内壁とサッシを全て交換しまして、あとLED照明にしたということで、この時はこちらの優遇されない方の補助でやらせていただいている状況です。今回は期限付きで2020年までに日本全国防災機能を持たせるための、要するに避難所として各学校の体育館等が全て避難所として使えるようにということで、防災機能強化といくことで今回このようなものになりましたが、問題としては、いかに2年間で終わるかというところで

(齋町長)

・ 並行作業になるんです。その他にも町では33年4月開所を目指す桜保育所、来年度実施設計の予算を通していただきましたので、来年度実施設計に入りまして32年度中に工事を終えて33年の4月に新しい桜保育所がスタートするという事になっております。これも防災上の問題も絡むので2階建の屋上に人が上がれる避難できる。桜町高い建物が何も無いんですね。千年に一度50cmから3mの内水が発生する可能性があるということで、堤防決壊ではないんですね。内水ですね。

(佐藤総務課長)

いえ、越水とかもします。白石川から越水することもある。

(齋町長)

越えて来るという事ですね。

(丹羽委員)

ちょっと待ってください。桜町が危ない可能性があるんですか。

(佐藤総務課長)

1000年に一度の大雨ですと、大河原町全体が。

(齋町長)

4月15日に全戸配布で新しいハザードマップが全戸配布になりますので。

(佐藤教育総務課長補佐)

1000年に一度の大雨で総雨量は400。

(佐藤総務課長)

460くらいですね。

(佐藤教育総務課長)

今までそれ位は降ったことはないです。最大で160ミリですか。8.5の時。

(佐藤総務課長)

8.5の時は270位です。

(丹羽委員)

その時に福田とか山沿いしかだめ、町中でも大丈夫な所はあるんですか。

(佐藤総務課長)

1000年に一度ですと、やはり高い所でないとだめです。

(丹羽委員)

要するに町内、この辺は全部だめ。

(佐藤総務課長)

だめです。

(丹羽委員)

ああそうですか。

(齋町長)

ちなみに私の住んでいる上谷3区も大体潜ります。

(丹羽委員)

あちらの方は高いんじゃないでしょうかね。

(齋町長)

流れは多分、末広方向に向かって水は流れるんだと思いますが、高いことは高いです。

(丹羽委員)

五光製作所の所水浸しになったことがありましたよね。だからそんな甘い話じゃないですね。

(齋町長)

あっちょうど時間。あっどうぞ時間3分で。

(佐藤教育総務課長補佐)

すみません。施設の中でですけれども、10年間の計画について申し上げます。一番後ろに事業概算出しているところに長寿命化改良事業という事で、今後10年間の学校の施設のあり方という事なんですけれども、町長の方にもお話をさせていただいております小中学校の目指すべき姿という事で、この後少子化という事もございまして、今後学校の再編成という事も今後考えて行かないといけないこともあり、今回中学校の体育館を治す際にも、ある程度その辺も考慮しながら進めて行かなければならないということもございまして、具体的にはお話しできないですけれども。

(齋町長)

いや、だって住民懇談会で出て教育長からも補足説明を頂いて、将来大中、金中の統合という問題、金中に金小が移るという問題、その辺を地域の住民のみなさんにご理解いただきながら検討して行く必要が有るんだろうという風に町としては考えているところでございまして、これなかなか議論の進め方、或いは意見の集約難しいところですが、しかし始まらないと、スタート切らないと結論は出ませんので、意見を賜ってまいりたいと。
はいどうぞ。

(齋教育長)

今町長申し上げた通り、本当に金ヶ瀬出身の方、何人もいらっしゃいますが、えーとですね、本当にあの金ヶ瀬ご出身の皆さま方には、身を切られるような思い出はないのかな

と思うんです。それは将来建物が寿命がまいりまして、全ての建物を町として維持して行く事は出来ないという時に児童生徒数が極端に減ってくるのが予想されます。そうすると金ケ瀬中学校の生徒が極端に減ってきた時に、学校運営が成り立たなくなってくるという事が予想されます。その時に例えば小中一貫校にしたらという地域住民の皆さんの声もごさいます。しかしあの町としては、大河原中学校と金ケ瀬中学校を一つにすることによって、建物の施設の数そのものを減らして行かない事には町として運営して行く事が出来ないんだという事を何とかご理解いただかなければならないという事なんです、教育総務課長どうぞ。

(齋町長)

教育総務課長までお話しいただきまして、もう一題終わりました時間がありません、またこの学校統合問題に戻りたいと思いますので、じゃあどうぞ。

(尾形教育総務課長)

やはり金ケ瀬の中学校が部活動関係やクラス替えが無い状態でずっと暮らさなければならぬという事についてのデメリットをメリットに変えるためには中学校を統合して環境を作る必要があるんだという所の理解を頂きながら進めて行かなければならないのではないかと、現時点から進めて行かなければと思います。

(齋町長)

はい、ありがとうございます。取りあえずこれは大きな問題ですので、ここのはまると学力向上に入れなくなるので、いや補佐大事な提言を取り上げていただいて感謝申し上げます。それでは、取りあえず(2)の教育施設の維持管理と将来計画については、終えさせていただきまして(3)の学力向上と教育のブランド化についてという事で取り上げさせていただきます。これは池田専門監ですね。

(池田学校教育専門監)

それではこちらの資料の3をご覧ください。おかげさまで大河原町の子ども達の学力、非常に高いという事で、県内外から注目頂いているところです。特に県の方では県の議会の方でも取り上げて頂いたり、いろいろ見学もしていただいている所です。1ページですが今年度の学力、学習状況調査の結果も含めた過去5年間の変動でございます。小学校につきましては、ご覧のとおりですね、国語、それから算数A、Bそれぞれの問題で全国平均を大きく上回っている状況でございます。平成26年度につきましては、この後裏に出てきますが、少し学力的な課題がある学年だったかなという所でございます。裏面2ページ中学校でございます。今までずっと中学校方が課題であったということでお話し頂いておりました。先程の26年度の小学校6年生が、この表でいくと29年度の3年生という事になります。ですから中学校に行っても、やはり課題は残ったかなという所ですが、

徐々に見て行きますとおわかりになるように、平成30年度につきましては全国平均或いは全国平均を上回る教科も出てきたという事で、徐々にではありますけど右肩上がりになって来ているという事で、今まで教育長をはじめ町のみなさんに支えられてきた成果が中学校の方でも表れて来ているんじゃないかなと言う風に見ている所です。3ページにつきましては、こちら全国の県の全国平均正答率の数値を表しているものでございます。見難いのですが、星マークが大河原町という事で特に算数Aにつきましては、全国1位の石川県と同じ値を示している、勿論他の市町村の数値はわからないので、丸めているところではあります、非常にいい成績を修めていた、他の国語、算数Bにつきましても、上から見ても3番目、或いは4番目に入っているという状況であります。4ページ大変申し訳ございません、ちょっとデータが古くて入っておりませんでした。中学校の方こちらでちょっと見づらいなのですが（タブレットに資料を示しながら）、こちら4ページ数値入っておりません、ミスですので入っておりませんので、中学校におきましても今年度、黄色の所が大河原町になります。先程もお話ししましたように、国語のBについては全国でも上位の方に、本年度については行きましたし、それから水色、緑色の所が全国平均なんですけれども、ほぼ全国平均、その近辺に位置しているのかなという事で中学校についても成果が表れ始めていると捉えております。4ページ大変申し訳ありませんでした。その後の資料ですが、今年度、平成30年度になりまして教育委員会や学校関係で取り上げていただいた新聞記事を入れさせていただきました。ちょっと抜けている部分もあるのですが、5ページからですけれども放送大学が入ったという件の記事でございます。それから6ページは夏休みに、ここ3年間行っております算数、数学チャレンジの町の取り組みも取り上げていただきました。7ページにつきましては、町長に出向いていただきまして、大河原中学校で講話をいただいた志集会の様子です。大河原中学校で非常に評判が良かったものですから、金ヶ瀬中学校へも出向いていただきまして講話をいただきました。それから8ページです。こちらは明日青の集いで表彰した生徒、高校生ですけれども、昨年度、一昨年度にカゲロウの死骸が橋の上に出た時に中学生だった、この子達が掃除をしてというような事で新聞にも取り上げていただいて所を表彰したところ、また取り上げていただいたという事です。それから9ページにつきましては、先程の全国トップクラスであるという事を上げていただきました。10ページですけれども金ヶ瀬小学校で松山先生の功績をオペレッタにしたものを取り上げていただきました。これにつきましては12月に行われました明日青の集いでも、みなさんにもご披露した所で見えてですね、涙を誘うというかという内容のものでございました。11ページ、12ページ、13ページですが、これは大河原中学校の科学部の子ども達が、科学の甲子園に出場しまして、なんと全国でも4位ということで、地方紙の河北新報だけでなく、こども新聞の方、河北のこども新聞の方にも別に取り上げていただいたということで、非常に注目を受けたところです。先程の話にも中学生、不登校だったり、いじめの課題等は有るというお話しでしたが、その中でも子ども達が活躍、頑張っているなという所で励みになることでもございました。14ページで12月に行いました、明日青の集いのトークフォークダンスの様子です。これはご

参加をいただいたみなさまはお解りだと思いますが、子ども達と大人が二重円になって、フォークダンスをするような形で話し合いをする、1分間のお題の中で、1分間の中で、そのお題に対して自分思いを話すという事で、当初はみなさん緊張しているんですが、話し始めるとあっという間なんですね、大人も子供もどんどん前のめりになって話しているという姿がとても素晴らしくて、子ども達の意欲ですとか会話、自己有用感を育てるのに非常に役立ったのではないかなと思います。15 ページにつきましては、例年取組んでおります、大河原南小学校の2分の1成人式です。申し訳ありません大中の立志式が抜けております。16 ページではですね先日の3.11の集会で大河原中学校の方で、前井上教頭先生が勤務されていた経歴がありましたので、井上先生に来ていただきまして中浜小学校での経験、体験を子ども達に伝えていただいたところです。そして、17 ページ最後ですが、先日21日の春分の日で、先程も話題にさせていただきましたペッパーを取り入れて、全体としてプログラミング教育を進めて行くという記事を入れさせていただきました。

(齋町長)

これは、県内版のトップ記事でしたね。

(池田学校教育専門監)

小さく載るんだろうと思っていましたらトップ記事で上げていただきまして、本当に有難いと言う風に思っています。こういった記事を掲載していただけるのは、私たち町の強みだなと思います。昨今ですと近隣市町等で不祥事が載るんですけれども、やはりいいニュースを積極的に発信することで町民の方にもご理解いただけますし、それから先生たち、子ども達の励みにもなるんじゃないかなと思います。学力の部分もそうですし、それから志を子ども達が高めて行く姿も現されているので、いいなというふうに思います。他の市町村にも発信、或いは伝えて行ければかなと思っています。ある市町の方からですね、近隣ですけれども、仕事ではその町に行っているのですが、住むとしたら大河原だと。別の町の役場の方なんですけれども、なぜかと言うと、その町ではなく、こちらの学校に通わせたいというような役場の職員さんもいるんだという事を聞いております。それだけ大河原、まっ、私たちの子育てをしていく中で将来を考えた時に、どこの学校、どこの地区に住ませたいかなと思った時に、それが一つのキーワードになるかなと感じている所でした。

(齋町長)

選ばれる町に、間違いなく繋がっているという現実を様々な所で私も感じておりますけれども、学力向上が志を育む、或いは生活態度を立派なものにして行く、そういう事にも間違いなく繋がってということでございまして、本当に素晴らしい事だと思って居る所です。何か皆さんお考えの所ありましたら、お聞かせ願いたいと思います。はいど

うぞ。

(丹羽委員)

最後ペッパー君なんですけれど、あのケアハウスなんかには置けないですか。

(池田学校教育専門監)

まあそうですね、ソフトバンクの事業が学校教育、それに付随する所なら可能だと思うんですが、可能と言えれば可能です。学校教育の中で使うという事であれば、先程のお話したような物産協会とか駅前とか、或いは図書館に置くというのも可能です。

(丹羽委員)

繋がってれば便利は便利ですよ、タブレットの話も出ましたけれど、例えば不登校の子が学校からタブレットを貰って、それで勉強する、先生の話の聞くとか、それでペッパー君と繋がるとか、その情報通信網は良くわかりませんが、何か自分の不安を解消したいという思いが強いんだと思うんですよね、そういう子達は。だからそういう使い方もあるのかなと思うんです。

(池田学校教育専門監)

今ご提案いただいたんですが、今ソフトバンクと町の協定を結びたいと考えております。こちらのペッパーを入れさせていただいてという事で、その中の協定の一つとして、今お話があったとおりなんですけれど、不登校の子ども達が自宅で勉強したいといった時にソフトバンクの協力を得て問題を入れてやるとか、そういったことも可能な内容が含まれていました。そういったものを今後考えて行ければなとそういう風に考えております。

(齋教育長)

重ねてどうぞ。

(丹羽委員)

おそらく不登校は、もっと増えると思います。学校に行けない子が増えると思います。そういう事への対応というのを大河原町で少し考えて行っていただけたら、有難いなと思います。必ず増えると思います。

(齋町長)

はい、教育長。

(齋教育長)

ソフトバンクとの提携という事がございましたが、これ県教委が既にソフトバンクと

提携しておりまして、県教委とソフトバンク、更には県教委とソフトバンクと仙台大学が提携しております。そこに仙台大学と大河原町が連携させていただきまして運動能力、或いは体育等の研究にもソフトバンクとの環境を生かして、連携を進めさせていただきたい、というような方向で進んでいるところであります。

(齋町長)

今ちょっと紹介がありましたけれど、来年度予算に県の補助事業として仙台大学と子ども達の体力増進に繋がる取組み、研究という事ですかね。ということで300万でしたっけ。

(齋教育長)

250万です。

(齋町長)

250万というお金を補助金として頂戴しております。これどこのにもない事ですよね。まさに、教育長にご褒美が来たという事で、ちょうど得した所でございます。他に何かございますか。

(丹羽委員)

全国的にはペッパー君を使ってる学校ってあるんですか。

(池田学校教育専門監)

私立の学校とかですね、大学ではあります。それから西の方では、いくつかあるようですが、市町村として取り上げたのは東北というか、宮城県では初めてです。

(丹羽委員)

素晴らしいですね。要するに今ペッパー君の扱いに詳しいのは、池田先生なんではないか。

(池田学校教育専門監)

残念ながら触れていないので、話だけなんです。

(丹羽委員)

平間先生もまだ暫くは大河原にいらっしゃるのでしょうか。

(齋教育長)

おります。

(丹羽委員)

それじゃ、池田先生もまだ大丈夫ですね。

(齋教育長)

まあ、その話はそれ位で。

(丹羽委員)

町長さんから出たんですが、桜保育所の事が出ましたよね。あそこ2階建てにされると
いう事ですが、今の桜町の公園が。

(齋町長)

はい、南桜の公園が。

(丹羽委員)

あそこに先に作って今の桜保育所そのまま使っていて、規模が大きくなるという事で
しょうか。

(齋町長)

いえいえ、新しく南桜公園に桜保育所が移転して行く、今古い、古くなった44年、築
44年の45年かな。桜保育所は解体してあそこに公園を作るということです。

(丹羽委員)

今の公園の方が広いですね。

(齋教育長)

広いです。

(丹羽委員)

だから私、もう少し大きくなるのかなって。2階建てですし。

(齋町長)

定員は120名で一緒です。駐車場が20台分くらい取れる、住民説明会も終わって、非
常に好意的に、ただ交通事故等への配慮をよろしくお願いします。或いは防災上の避難所
なんで盛土しろなんて話もありましたけれど、2階建てで屋上が使える屋上には避難で
きるような構造にしたいという事で、今年度ちょっと増額補正しまして設計の。

(丹羽委員)

なぜ私が質問したかと言いますと、大河原町は、まだ子供が増える可能性があるという。私の所でも孫が2人、大河原町民として生まれましたんで、待機児童になると困るなど、そういう心配もあるんですよね。働いてますので、だからそういうものにちゃんと対応した設計というか人数というか、そういった物であってほしいな。せつかく新しいものを作るんだから。

(齋町長)

120人定員でもですね、もう少し取れるんですよね。1割、2割。

(八島生涯学習課長)

140まで。

(齋町長)

140まで取れる。それと新しく60人定員のモンテッソーリぽこぽこ子どもの家保育園ができます。これ4月間もなく定員そこそこでスタートを切りますので、町も補助をしたところでございます。

(丹羽委員)

子供にお金を掛ける町は人口が増えると思います。だから是非そういう町であってほしいなってそういう風に考えております。あのうちの娘は、前岩沼に住んでいたんですが、岩沼はつまらないって言ってました。大河原は素晴らしいって。川があって白石川があって蔵王があって、風光明媚で環境にも恵まれていて便利な所だと思いますね。是非これからも、皆さんに慕われる町であって欲しいなって思います。

(齋町長)

あの第6次長期総合計画が4月から11年計画でスタートしますけれども、人と言う字が入ってまして、人、まち、桜が咲き誇る先進の町を目指していくという事で、人への投資は、大変大きな重点項目になると考えております。何年か前には丹羽委員に人への投資についてのご発言をいただいて、グサッとこら辺に刺さっておるものですから、きちんと反映させていきたいと思っておりますので、お願いいたします。はい他に、どうぞ。

(一盃森委員)

あのですね。3月7日付けだったと思いますけど生涯学習に関する意識調査の報告が上がってたんで拝見させていただきましたが、生涯学習のみならず、質問項目が多岐にわたっていたので、広く町政に関わる商工観光含めての内容だったかなと思って、あの自

由記述の所なんかは、非常に興味深く読みましたけれども、今後あれの使い道というか、今回意識調査をするにあたって、やっぱりどっかに反映させて行こうという意図があったんだろうと思うんですけども、その辺の所を教えていただけたらと思います。

(八島生涯学習課長)

今回の意識調査につきましては、住民の方々、町民の方々がどんな思いを持っていられるのか、まずはそこを探って行きましょうという所から始まった訳でございまして、その意識調査をすることによって、どんな感じでイメージしているのか、という事で実行可能な所、実行にまだまだ時期が掛かるところから優先順位を決めまして、今後あるべき姿というか、進むべき姿の所を、まずはそこを土台にして取組んでいく題材にしたいなというところでイメージを持っているところであります。その意識調査のものを題材にして進んで行く過程において、これから町全体で進めなければならない事業展開を計画して行きたいなと考えている所です。

(一孟森委員)

今、あの町全体で取組んで進めて行きたいとお話しだったんですけども、私もそういう風に思うんです。教育が教育だけで独立してというようなことではないと思うんですね。是非そういう意味でブランド化を進めて行くという時に学校教育だけが独り歩きするっていうことではなしに、町の町民、町の経営と言ったいいか、それの中での教育だよっていう風な位置づけで人を作って行くっていう発想が大事なんだろうなと思って拝見しておりましたので、どうぞよろしくお願いします。

(齋町長)

ありがとうございます。最近ちょっと職員にも話し始めてるんですけども、選ばれる町の今後の大事な要素の一つは、実は生涯学習だという風に私自身は受け止めています。教育のブランド化、医療の拠点、そして賑わいの創出。うちの町が担って行かなければならない役割はたくさんありますけれども、やっぱり住民の皆さんの力、民度という言葉が良いのかどうか分かりませんが、そういったものを高めて行くことが、実は本当に住民参加の元気な町に繋がって行く、これは人口を減らさないためにも、選ばれる町であり続けるためにも、生涯学習に力を入れて行く必要があるということを真剣に考えている所でございまして、ただ私任期がございまして、あまりへらへら語ってられないのですが、そういう町を目指してまいりたというふうに強く意識しているところでございます。あれ、その他になりましたね。

間もなく5分という所になりました。最後になにか。まあテーマ離れて結構でございしますので、ご発言いただければと思います。どうぞ舟山先生。

(舟山委員)

曖昧な、もやっとして、最近いろんないじめ、親からの虐待ですかね。そういうの聞く度に冗談混じりで、私は親になるための試験があると良いなと、こう思うんですけど、例えば町としてはできないかもしれないけど、国あたりでは、何か親になる前にね結婚を機にとか妊娠を機にとか、何かその子供を育てる、親になるということの心構えみたいなことを学習する場があったらいいかなと常々思っているんですけども、若い人達に対して、そういう支援の場って言いますかね、学習と言うか親を育てなければ、増えて行くんじゃないかなと大人を育てて行かなければと思うんですが。

(齋町長)

今年、今年度健康推進課が夫婦で参加できる子育て講演会をやっております。冒頭挨拶だけしろと言われて行ったんですけど、その後公務が有って話を聞けなかったんですが、いろいろ考えて、先生がおっしゃるような事が、やっぱりなかなか施策として組み立てられていないということが、特別について補助金で、多分単年度補助なんですよ。もし25人くらい参加してくれた、よく見たら3割くらい役場職員がいましたけれど、参加した職員に聞いたら、結構勉強になりましたということで、ちょっと講演のタイトルを忘れてしまいましたけれど、子育ての悩みを夫婦で共有してやって行きましょうという。

(丹羽委員)

舟山先生のお話は教育委員会で良く出る話なんです。子供よりも大人だべ、じゃ大人をどうやって教育するのって、いや難しいよねって話でうだうだになってしまう。だからその辺は宗教家とか出てこないといけないんですけども、話にならないですから。実は役場の職員の方がたくさん出られたという事ですけども、問題の無い方が出るんですよ。PTAの役員会でも、問題の無い方が学校行事でも問題の無い方ばかり来るんですよ。或いは何とかしなきゃいけないと考えている方々。問題を起こしている子の親は来ないです。だからそういう親を、どうやって教育するかったって、さあ旗を振って、こういう会議やるから、研修会やるからって言うたって来ませんね。実は私驚いたんですけども、うちにクロとシロという犬がいるんですが、少し名前難しいんですがシロ、クロ、シロ、クロ言うんですが、私が可愛がっているつもりでクロの頭をぽんぽんぽんって叩いたんですが、叩いたつもりはありませんよ、ぽんぽんぽんですから。ところが脇にいた若い女性が和尚さんいじめていいんですかっていう訳ですよ。つまり自分も犬を飼っている訳ですよ、頭を叩く事は絶対にしません、せめてお尻をぽんぽんぽん、頭を叩いちゃだめだ、ああそういうことか、そういうことあるんだな。つまり見る方によって全然違うんですよ。私の場合は可愛がってる、おまえめんこいな、くらいのが、その方にはいじめてるように感じた、その辺の所も難しいんですが、問題を抱えている子ども達の親が学べるような本当は場所があればいいというような話です。

(齋教育長)

親になるためのプログラミングですが、中学校では保育体験をやっておりまして、男の子がおむつ交換の体験しております。大中でも金中でも、男の子がおむつ交換を体験する姿と言うものは、本当に微笑ましいです。役場の方からも支援をいただいております。役場職員も一緒になって指導していただいている。それを継続することが非常に有難いなと、子ども達に親になるための心構えを、そういった体験をとおしてできることが非常に有難いなと思っております。

(齋町長)

ありがとうございます。ということで残る時間は 30 秒ということになりましたので、実はこの間、初めて仙南広域の総合教育会議に呼ばれて、お金出してるから呼ばれたんだと思いますけども、それで進め方は全然違うんですね、指されて一言ずつ答えていくような、それはそれでいろいろ気づかされることもありましたが、やっぱりこうやってピンポン玉のようにですね、遣り取りしながら課題、或いは今後の進むべき方向、或いはあるべき姿みたいなことを議論していくようなことが、やっぱり、たぶんこっちの方が素晴らしいじゃないか言う風に思います。大変恐縮ですが感じたところでございます。また来年も、もう少し早く、もう少し早い時期に開催するお願いをしまして、またご出席に感謝申し上げます。私勝手に閉めていいんでしたっけ。議事は終了させていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

それでは町長、どうもありがとうございました。それではこれで、平成 31 年第 1 回大河原町総合教育会議を閉会いたします。どうもお疲れ様でした。